

平成 27 年 3 月 5 日
気 象 庁

気象庁防災情報 XML フォーマットに係る資料の一部更新について

気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページ (<http://xml.kishou.go.jp/>) に掲載されている観測関連 XML に係る資料の一部について、更新を行いました。変更内容は以下のとおりです。

1. 観測関連 XML 解説資料の修正について

(1) 概要

特殊気象報(トクシユ・フレ・キセツ)及び生物季節観測報告気象報の XML 電文においては、Station 部の Location に「観測官署の場所」を記載することとしています。本年 3 月 5 日以降、Location には、現象を観測した気象官署の観測露場の場所を記載することとします。なお、大気現象の目視観測や生物季節観測において、通報内容の観測場所が観測露場とは異なる場合は、実際の観測場所を ObservationAddition 部の Text に「記事」として記載します。

(2) 修正する資料

- 特殊気象報(季節観測・各種現象・風・気圧)XML の解説 別紙 1
- 生物季節観測報告気象報 XML の解説 別紙 2

(別紙1)

- 特殊気象報(季節観測・各種現象・風・気圧)XMLの解説(見え消し)

特殊気象報(季節観測・各種現象・風・気圧)XML の解説

特殊気象報(季節観測・各種現象・風・気圧)XMLの構造は気象庁防災情報XMLフォーマットに従います。本解説は現在の特殊気象報の運用に則してさらに詳細に記述していますので、今後の運用の変更に伴って本解説の内容が変わる可能性があります。

1. Control 部

```
<Control>  
  <Title>季節観測</Title>  
  <DateTime>2009-01-09T02:02:05Z</DateTime>  
  <Status>通常</Status>  
  <EditorialOffice>熊谷地方気象台</EditorialOffice>  
  <PublishingOffice>熊谷地方気象台</PublishingOffice>  
</Control>
```

1 1 Title

電文の種別を示すための情報名称

[解説] “季節観測”“特殊気象報”のいずれかを記載する。

1 2 DateTime

発表時刻

[解説] 年月日時分秒を協定世界時(UTC)のDateTime型で記載する。

1 3 Status

運用種別

[解説] “通常”“訓練”“試験”のいずれかを記載する。

1 4 EditorialOffice

編集官署名

[解説] 実際に発表作業を行った気象官署名を記載する。(注)

1 5 PublishingOffice

発表官署名

[解説] 業務的に発表した気象官署名を記載する。(注)

2. Head 部

```
<Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
  <Title>季節観測</Title>
  <ReportDateTime>2009-01-09T11:00:00+09:00</ReportDateTime>
  <TargetDateTime>2009-01-09T00:00:00+09:00</TargetDateTime>
  <EventID>20090109110000_初氷</EventID>
  <InfoType>発表</InfoType>
  <Serial />
  <InfoKind>特殊気象報</InfoKind>
  <InfoKindVersion>1.0_0</InfoKindVersion>
  <Headline>
    <Text />
  </Headline>
</Head>
```

2 1 Title

情報の標題

[解説] “ 季節観測 ” “ 特殊気象報 (各種現象) ” “ 特殊気象報 (風) ” “ 特殊気象報 (気圧) ” のいずれかを記載する。

2 2 ReportDateTime

発表時刻

[解説] 発表時刻を日本標準時 (JST) の DateTime 型で記載する。

2 3 TargetDateTime

基点時刻

[解説] 観測年月日を日本標準時 (JST) の DateTime 型で記載する。

2 4 EventID

識別情報

[解説] 独立した情報取り扱い単位における識別情報として用いる。識別情報のフォーマットは以下の通り。

- 1 Body/MeteorologicalInfos 部の @type が “ 季節観測 ” “ 特殊気象報 (各種現象) ” の場合、発表時刻の日本標準時 (JST) 表記の “ YYYYMMDDHHMM00_ ” に続いて、観測した項目を記載する。
- 2 Body/MeteorologicalInfos 部の @type が “ 特殊気象報 (風) ” “ 特殊気象報 (気圧) ” の場合、発表時刻の日本標準時 (JST) 表記の “ YYYYMMDDHHMM00_ ” に続いて、観測した項目、 “ _ ”、現象を観測した気象官署 (特別地域気象観測所を含む) の国際地点番号を記載する。

2 5 InfoType

情報形態

[解説] “ 発表 ” “ 訂正 ” “ 取消 ” のいずれかを記載する。

2 6 Serial

情報番号

[解説] 常に空タグとなる。

2 7 InfoKind 及び InfoKindVersion

スキーマの運用種別情報 (InfoKind) 及びスキーマの運用種別情報のバージョン番号 (InfoKindVersion)

[解説] 1 InfoKind は、 “ 特殊気象報 ” で固定。

2 InfoKindVersion は、バージョン番号を文字列で記載する。

2 8 Headline 部

```
<Headline>
  <Text />
</Headline>
```

2 8 1 Text

見出し文

[解説] 常に空タグとなる。

3 . Body 部

```
<Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/">
  <MeteorologicalInfos type="季節観測">
    <MeteorologicalInfo>
      <DateTime significant="yyyy-mm-dd">2009-01-09T00:00:00+09:00</DateTime>
      (略)
```

3 1 MeteorologicalInfos 部

特殊気象報の観測項目と観測官署について記載する。

[解説] @type には “ 季節観測 ” “ 特殊気象報 (各種現象) ” “ 特殊気象報 (風) ” “ 特殊気象報 (気圧) ” のいずれかを記載する。

```
<MeteorologicalInfos type="季節観測">
  <MeteorologicalInfo>
    <DateTime significant="yyyy-mm-dd">2009-01-09T00:00:00+09:00</DateTime>
    <Item>
      <Kind>
        (略)
```

3 1 1 MeteorologicalInfo 部

3 1 1 1 DateTime

基点時刻

[解説] 観測年月日を日本標準時 (JST) の DateTime 型で記載する。

3 1 1 2 Item 部

特殊気象報の内容について、観測の項目 (Kind 部)、観測所情報 (Station 部) を記載する。

3 1 1 2 1 Kind 部

特殊気象報の観測項目について記載する。

3 1 1 2 1 1 Name

項目名。MeteorologicalInfos 部の @type が “ 季節観測 ” “ 特殊気象報 (各種現象) ” の場合に出現する。

```
<Kind>
  <Name>初氷</Name>
</Kind>
```

[解説] 1 MeteorologicalInfos 部の @type が “ 季節観測 ” の場合、“ 初雪 ” “ 初氷 ” “ 初霜 ” “ 初冠雪 ” のうち観測した項目を記載する。

2 MeteorologicalInfos 部の @type が “ 特殊気象報 (各種現象) ” の場合、“ 黄砂 ” “ 風じん ” “ 竜巻 ” “ ひょう ” “ なだれ ” “ 不連続線の通過 ” のうち観測した項目を記載する。

3 1 1 2 1 2 Property 部

MeteorologicalInfos 部の @type が “ 特殊気象報 (風) ” “ 特殊気象報 (気圧) ” の場合に出現する。

```
<Kind>
  <Property>
    <Type>風</Type>
    <WindPart>
      <Base>
        (略)
```

3 1 1 2 1 2 1 Type

項目名

[解説] “ 風 ” “ 気圧 ” のいずれかを記載する。

3 1 1 2 1 2 2 WindPart 部

MeteorologicalInfos 部の@type が “特殊気象報(風)” の場合のみ出現する。

```
<WindPart>
<Base>
  <jmx_eb:WindDegree type="風向" unit="3 6 方位数字" description="1/36 度">1</jmx_eb:WindDegree>
  <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" description="最大風速 15.3m/s">15.3</jmx_eb:WindSpeed>
  <Time>2008-07-31T09:39:00+09:00</Time>
</Base>
<Temporary>
  <jmx_eb:WindDegree type="風向" unit="3 6 方位数字" description="2/36 度">2</jmx_eb:WindDegree>
  <jmx_eb:WindSpeed type="最大瞬間風速" unit="m/s" description="最大瞬間風速 30.2m/s">30.2
  </jmx_eb:WindSpeed>
  <Time>2008-07-31T09:38:00+09:00</Time>
</Temporary>
</WindPart>
```

3 1 1 2 1 2 2 1 Base 部

最大風速(10分間平均風速の最大値)とその風向、観測時刻を記載する。

3 1 1 2 1 2 2 1 1 jmx_eb:WindDegree

最大風速の風向

- [解説]
- 1 観測した最大風速の風向を 36 方位数字で記載する。数字は 0 から 36 までの実数値が入る。観測値が欠測の場合は空タグとなる。
 - 2 @type は “風向” で固定。
 - 3 @unit は “3 6 方位数字” で固定。
 - 4 観測値が不明の場合のみ@condition を付加し、“不明” と記載する。
 - 5 @description は 36 方位数字の後に “/36 度” と記載する。観測値が欠測の場合は “風向不明” と記載する。

(風向が欠測の場合の記載例)

```
<jmx_eb:WindDegree type="風向" unit="3 6 方位数字" condition="不明" description="風向不明" />
```

3 1 1 2 1 2 2 1 2 jmx_eb:WindSpeed

最大風速

- [解説]
- 1 観測した最大風速を m/s 単位で記載する。数字は小数第 1 位までの実数値が入る。観測値が欠測の場合は空タグとなる。
 - 2 @type は “最大風速” で固定。
 - 3 @unit は “m/s” で固定。
 - 4 観測値が欠測の場合のみ@condition を付加し、“不明” と記載する。
 - 5 @description は “最大風速” の後に観測値、続けて “m/s” と記載する。観測値が欠測の場合は “最大風速不明” と記載する。

(最大風速が欠測の場合の記載例)

```
<jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" condition="不明" description="最大風速不明" />
```

3 1 1 2 1 2 2 1 3 Time

最大風速の観測時刻

- [解説] 最大風速の観測時刻を日本標準時(JST)の DateTime 型で記載する。

3 1 1 2 1 2 2 2 Temporary 部

最大瞬間風速とその風向、観測時刻を記載する。

3 1 1 2 1 2 2 2 1 jmx_eb:WindDegree

最大瞬間風速の風向

- [解説]
- 1 観測した最大瞬間風速の風向を 36 方位数字で記載する。数字は 0 から 36 までの実数値が入る。観測値が欠測の場合は空タグとなる。
 - 2 @type は “風向” で固定。
 - 3 @unit は “3 6 方位数字” で固定。

- 4 観測値が欠測の場合のみ@condition を付加し、“不明”と記載する。
- 5 @description は 36 方位数字の後に “ /36 度 ” と記載する。観測値が欠測の場合は “ 風向不明 ” と記載する。

(風向が欠測の場合の記載例)

```
<jmx_eb:WindDegree type="風向" unit=" 3 6 方位数字" condition="不明" description="風向不明" />
```

3 1 1 2 1 2 2 2 jmx_eb:WindSpeed

最大瞬間風速

- [解説]
- 1 観測した最大瞬間風速を m/s 単位で記載する。数字は小数第 1 位までの実数値が入る。観測値が欠測の場合は空タグとなる。
 - 2 @type は “ 最大瞬間風速 ” で固定。
 - 3 @unit は “ m/s ” で固定。
 - 4 観測値が欠測の場合のみ@condition を付加し、“不明”と記載する。
 - 5 @description は “ 最大瞬間風速 ” の後に観測値、続けて “ m/s ” と記載する。観測値が欠測の場合は “ 最大瞬間風速不明 ” と記載する。

(最大瞬間風速が欠測の場合の記載例)

```
<jmx_eb:WindSpeed type="最大瞬間風速" unit="m/s" condition="不明" description="最大瞬間風速不明" />
```

3 1 1 2 1 2 2 2 3 Time

最大瞬間風速の観測時刻

- [解説] 最大瞬間風速の観測時刻を日本標準時 (JST) の DateTime 型で記載する。

3 1 1 2 1 2 3 PressurePart 部

Meteorological Infos 部の@type が “ 特殊気象報 (気圧) ” の場合のみ出現する。

```
<PressurePart>
  <Temporary>
    <jmx_eb:Pressure type="最低気圧" unit="hPa" description="最低気圧 1005.2hPa">1005.2</jmx_eb:Pressure>
    <Time>2008-07-31T09:40:00+09:00</Time>
  </Temporary>
</PressurePart>
```

3 1 1 2 1 2 3 1 Temporary 部

最低気圧と観測時刻を記載する。

3 1 1 2 1 2 3 1 1 jmx_eb:Pressure

最低気圧

- [解説]
- 1 最低気圧を hPa 単位で記載する。数字は小数第 1 位までの実数値が入る。
 - 2 @type は “ 最低気圧 ” で固定。
 - 3 @unit は “ hPa ” で固定。
 - 4 @description は “ 最低気圧 ” の後に観測値、続けて “ hPa ” と記載する。

3 1 1 2 1 2 3 1 2 Time

最低気圧の観測時刻

- [解説] 最低気圧の観測時刻を日本標準時 (JST) の DateTime 型で記載する。

3 1 1 2 2 Station 部

特殊気象報の観測官署について記載する。

```
<Station>
  <Name>熊谷地方気象台</Name>
  <Code type="国際地点番号">47626</Code>
  <Location>熊谷市桜町</Location>
</Station>
```

3 1 1 2 2 1 Name

観測官署名称

[解説] 現象を観測した気象官署（特別地域気象観測所を含む）名を記載する。（注）

3 1 1 2 2 2 Code

観測官署コード

[解説] 現象を観測した気象官署（特別地域気象観測所を含む）の国際地点番号を記載する。（注）

3 1 1 2 2 3 Location

観測官署の場所

[解説] 現象を観測した気象官署（特別地域気象観測所を含む）の観測露場の住所を記載する。

3 2 AdditionalInfo 部

特殊気象報に関する付加事項の内容を記載する。なお、付加事項が無い場合、AdditionalInfo 部以下は出現しない。

```
<AdditionalInfo>
  <ObservationAddition>
    <DeviationFromNormal>-9</DeviationFromNormal>
    <DeviationFromLastYear>7</DeviationFromLastYear>
    <Text>露場内</Text>
  </ObservationAddition>
</AdditionalInfo>
```

3 2 1 ObservationAddition 部

3 2 1 1 DeviationFromNormal

平年差。MeteorologicalInfos 部の@type が “ 季節観測 ” の場合のみ出現する。

ただし、平年差が算出できない場合は出現しない。

[解説] 観測日の平年差を記載する。平年より早い場合は負の値、遅い場合は正の値とする。

3 2 1 2 DeviationFromLastYear

昨年差。MeteorologicalInfos 部の@type が “ 季節観測 ” の場合のみ出現する。

ただし、昨年差が算出できない場合は出現しない。

[解説] 観測日の昨年差を記載する。昨年より早い場合は負の値、遅い場合は正の値とする。

3 2 1 3 Text

記事

[解説] 観測の付加事項として、現象に関する特異事項のうち必要と思われるものを全角文字で簡略に記載する。

ただし、観測した項目が “ 初冠雪 ” の場合は必ず山岳名を記載する。

また、特別地域観測所から発表される “ 特殊気象報 (風) ” の場合は、 “ 自動処理 ” を記載する。

なお、記事がない場合は出現しない。

(注) 特別地域観測所の特殊気象報 (風) については、Control部のEditorialOffice及びPublishingOfficeに特別地域気象観測所を管理している気象官署名、Station部のName及びCodeにコード表Wmo0bservingStationsに記載の特別地域気象観測所名と国際地点番号が記載される。

(別紙2)

- 生物季節観測報告気象報 XML の解説 (見え消し)

生物季節観測報告気象報 XML の解説

1. 全体構成

Report

Control	伝送情報部
Head	ヘッダー部
Body	ボディー部

2. 各部の構成と内容

(1) Control 部

Control

Title	情報名称。“生物季節観測”と記述。
DateTime	発表時刻。“2014-03-18T04:14:59Z”のように協定世界時で記述。
Status	運用種別。“通常”を記述。
EditorialOffice	編集官署名。“高知地方気象台”のように記述。
PublishingOffice	発表官署名。“高知地方気象台”のように記述。

(2) Head 部

Head

Title	標題。“生物季節観測”と記述。
ReportDateTime	発表時刻。“2014-03-18T13:12:00+09:00”のように日本標準時で記述。
TargetDateTime	基点時刻。“2014-03-18T00:00:00+09:00”のように日本標準時で記述。
EventID	識別情報。電文発表時刻と生物季節現象コードを“20140318131200_18”のように記述。
InfoType	情報形態。“発表”“訂正”“取消”のいずれかを記述。
Serial	情報番号。記述しない。
InfoKind	スキーマの運用種別情報。“生物季節観測報告気象報”と記述。
InfoKindVersion	スキーマの運用種別情報のバージョン番号。“1.0_0”と記述。
HeadLine	見出し要素。記述しない。
Text	見出し文。記述しない。

(3) Body 部

Body

Meteorological Infos	気象情報。@type=“生物季節観測”と記述
Meteorological Info	予報・観測の時間。
DateTime	予報・観測の基点時刻。“2014-03-18T00:00:00+09:00”のように日本標準時で記述。
Item	予報・観測の内容。記述しない。
Kind	警報・注意報、観測情報。記述しない。
Name	項目名。“さくらの開花日”のように記述。

Code	警報・注意報コード。“18”のように記述。
ClassName	観測対象の品種または総称。“ソメイヨシノ”のように記述。
Condition	種別の補足説明。“通常”または“不時現象”と記述。
Station	地点要素。記述しない。
Name	観測官署名称。“高知地方気象台”のように記述。
Code	観測官署コード。“47893”のように記述。
Location	観測官署の観測露場の場所。“高知市比島町”のように記述。
Status	観測場所の状況。“構内”または“付近”と記述。
AdditionalInfo	付加事項。記述しない。
ObservationAddition	観測の付加事項。記述しない。
DeviationFromNormal	平年差。“-4”のように記述（平年差が算出できない場合は出現しない）。
DeviationFromLastYear	昨年差。“3”のように記述（昨年差が算出できない場合は出現しない）。
Text	記事。“高知公園（コウチコウエン）”のように記述。